

学習状況調査 質問紙より
(武雄市 分析)

●平成27年度 学習状況調査質問紙より

【学校生活や生活習慣について】

- ◎「学校に行くのは楽しい」という項目は、小学5・6年と中学1・2・3年では「そう思う」「どちらかというとそう思う」と答えた児童がどの学年も8割を超えており、多くの児童生徒たちが楽しいと答えていて今後も子供たちを中心に据えた教育活動を行っていく。一方で、「どちらかといえば、そう思う」「そう思わない」という児童・生徒に焦点を当てて今後指導・支援を行っていく必要がある。
- ◎「朝食を毎日食べている」という項目では、ほとんどの児童生徒が朝食を食べてきており、小学5・6年では県平均を上回っており、中学1・2・3年でもほぼ同等となっている。

※武雄市はこれまで栄養教諭を中心とした推進事業に取り組んできており、食育・健康教育に対する意識はどの学校も高い。また、文部科学省からの「スーパー食育スクール事業」に取り組んでいる校区もあり、今後も引き続き食育の取り組みを積極的に行いたい。

【家庭学習の取り組みについて】

- ◎宿題の習慣については、ほとんどの児童・生徒が定着していると考えられる。
- ▲「学校の予習をしている、どちらかといえばしている」という項目では、小学5・6年、中学2・3年では「している」「どちらかといえば、している」が県平均を下回っている。予習型の宿題を出すなど、家庭学習で予習をして授業に臨む習慣を付けていく必要がある。スマイル学習も使用率を高めながら予習型学習を奨励していく必要がある。
- ▲中学校では、「学校の授業の復習をしている」「自分で計画を立てて勉強をしている」は2・3年生は県平均を下回っており、復習を含め、自主的に学習する習慣化を図っていくことが課題である。今後は、自主的・計画的に家庭学習ができるように、予習・復習が連続した授業づくりを意識して取組んでいきたい。

【家庭や地域との連携について】

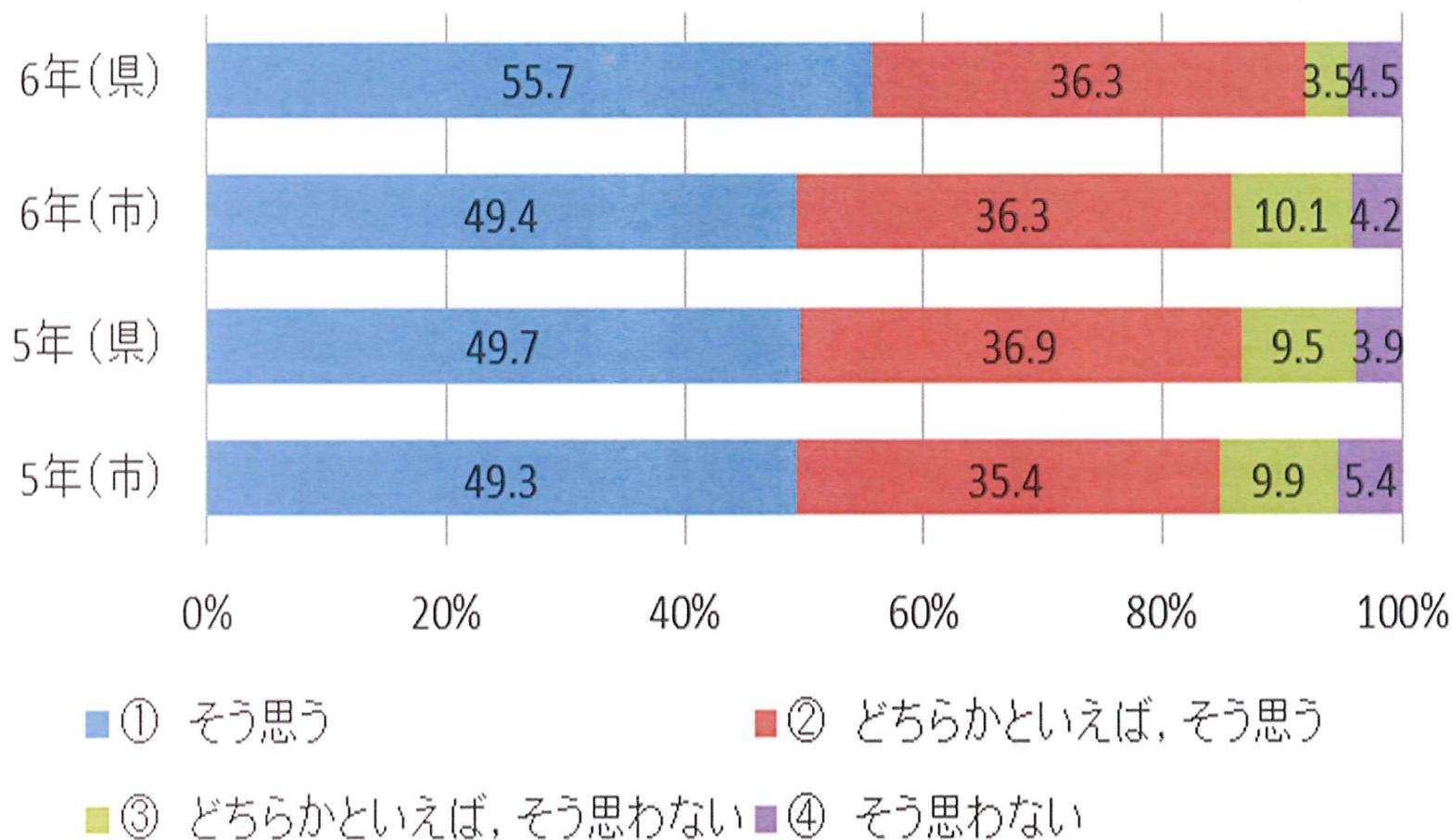
⑨「今住んでいる地域の行事に参加している。」という項目では、どの学年も県の平均値を大きく上回っている。

※地域ぐるみで、子ども達の教育に携わっていただいている、地域と家庭のつながりの強さが伺われる。今後も、コミュニティ・スクールの取組や、ゲストティーチャーとしての地域の方の活用など連携を図っていきたい。

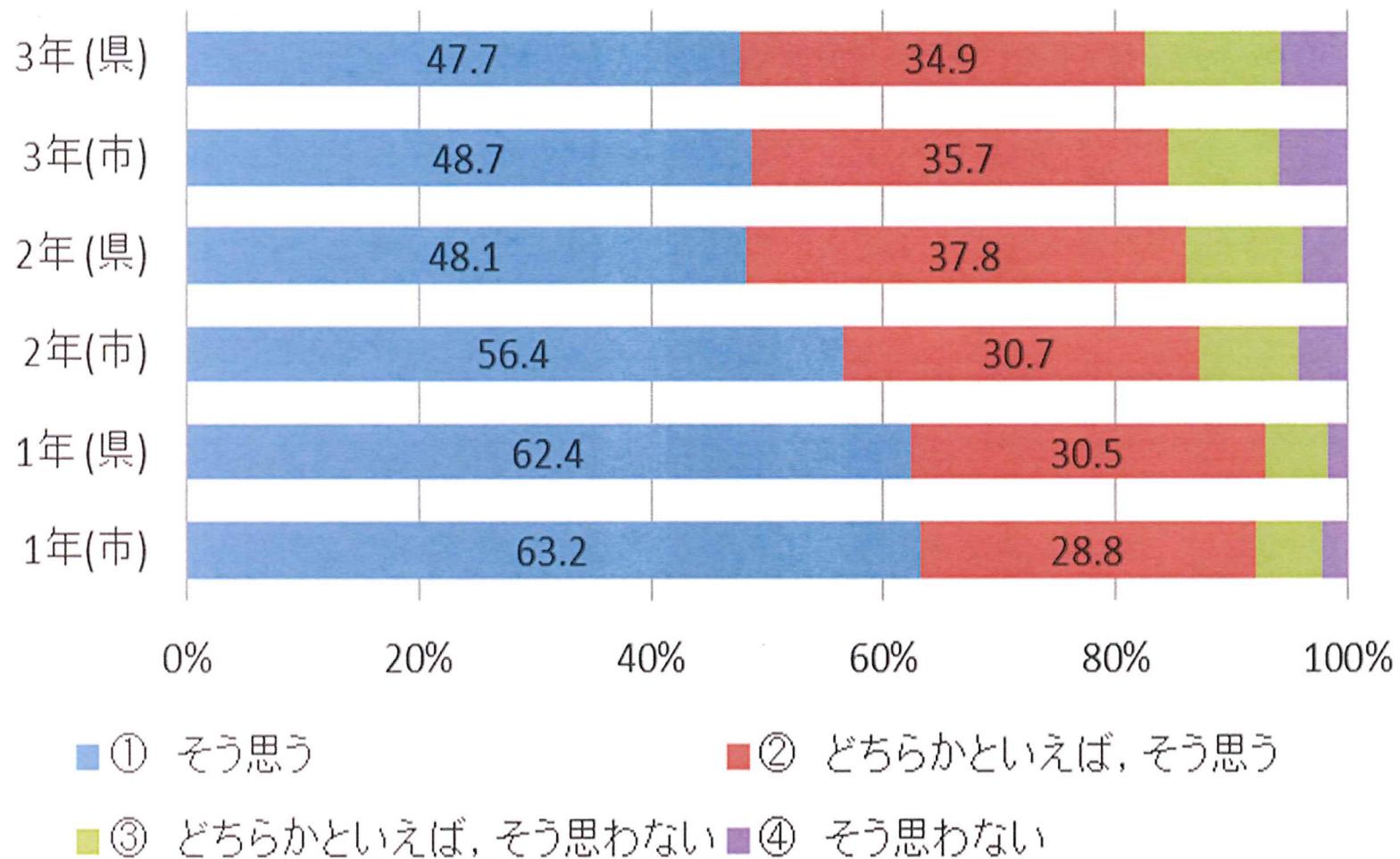
【学校の授業について】

⑩「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」という項目では、小学6年・中学1年は県平均と同等、小学5年・中学2・3年では県平均を上回っている。昨年度の割合と比べても大きく向上している。これは、スマイル学習などの実施や協働的な学習に意識して取り組んだ結果であると考える。

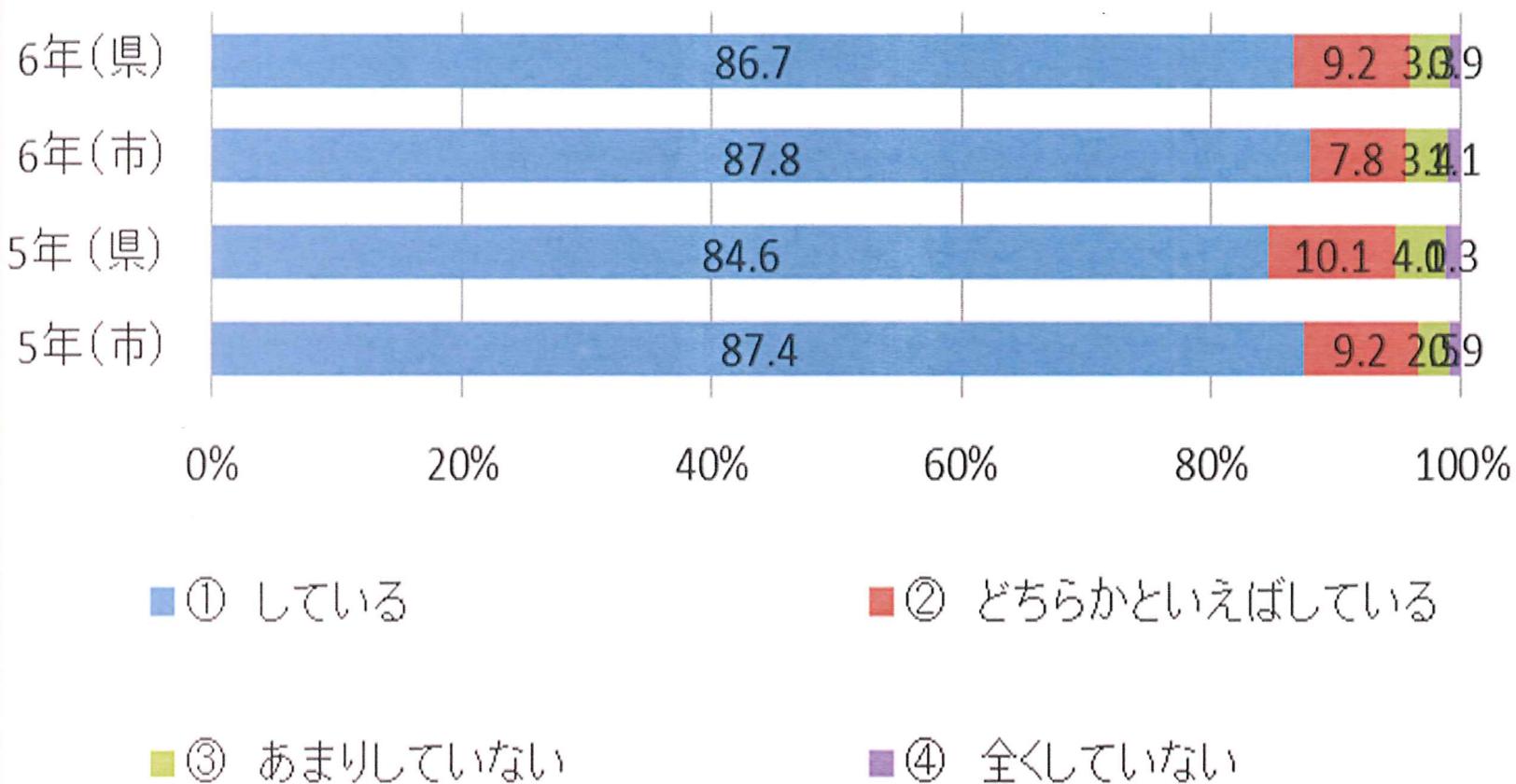
学校に行くのは楽しいと思う



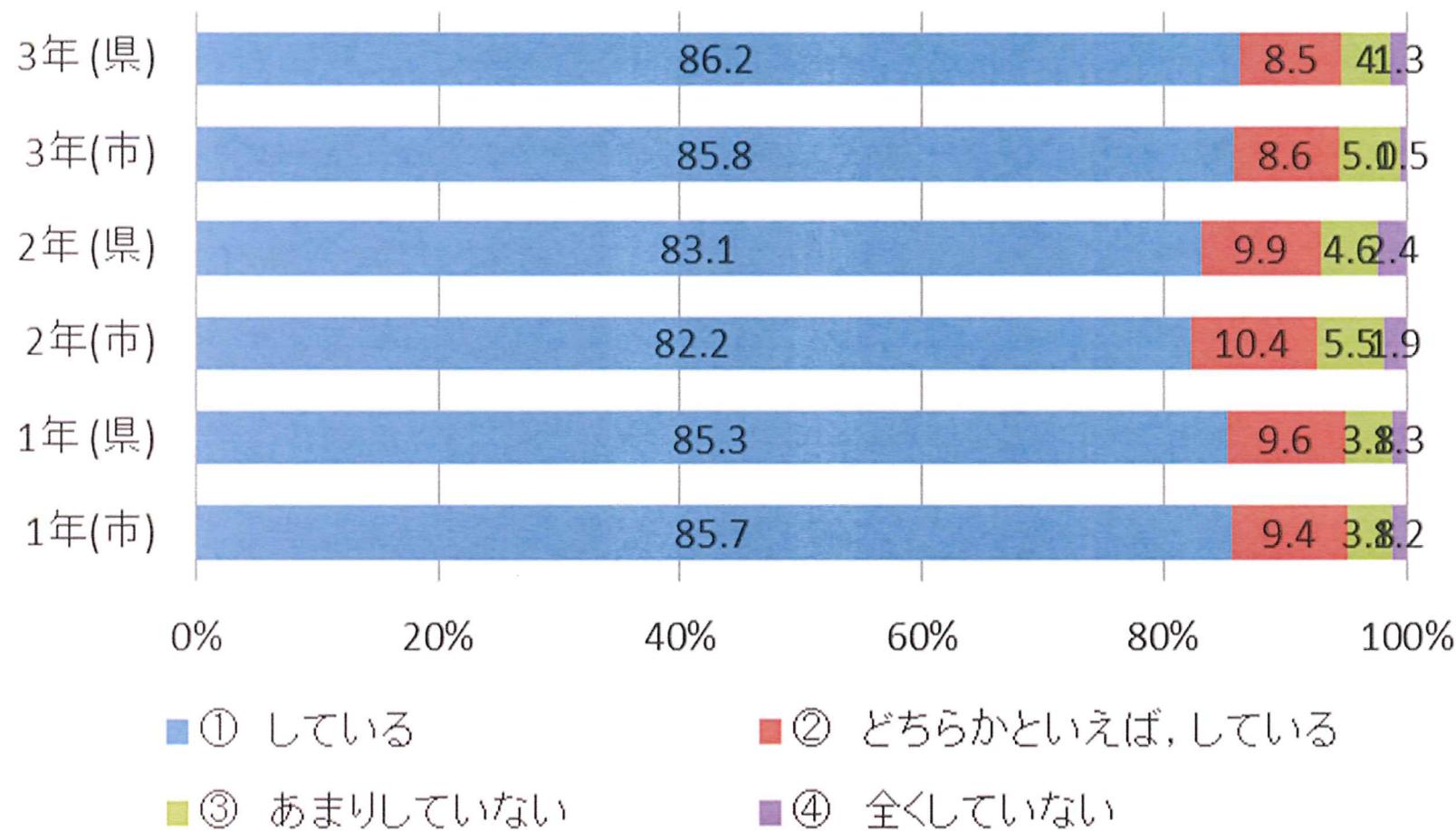
学校に行くのは楽しいと思う



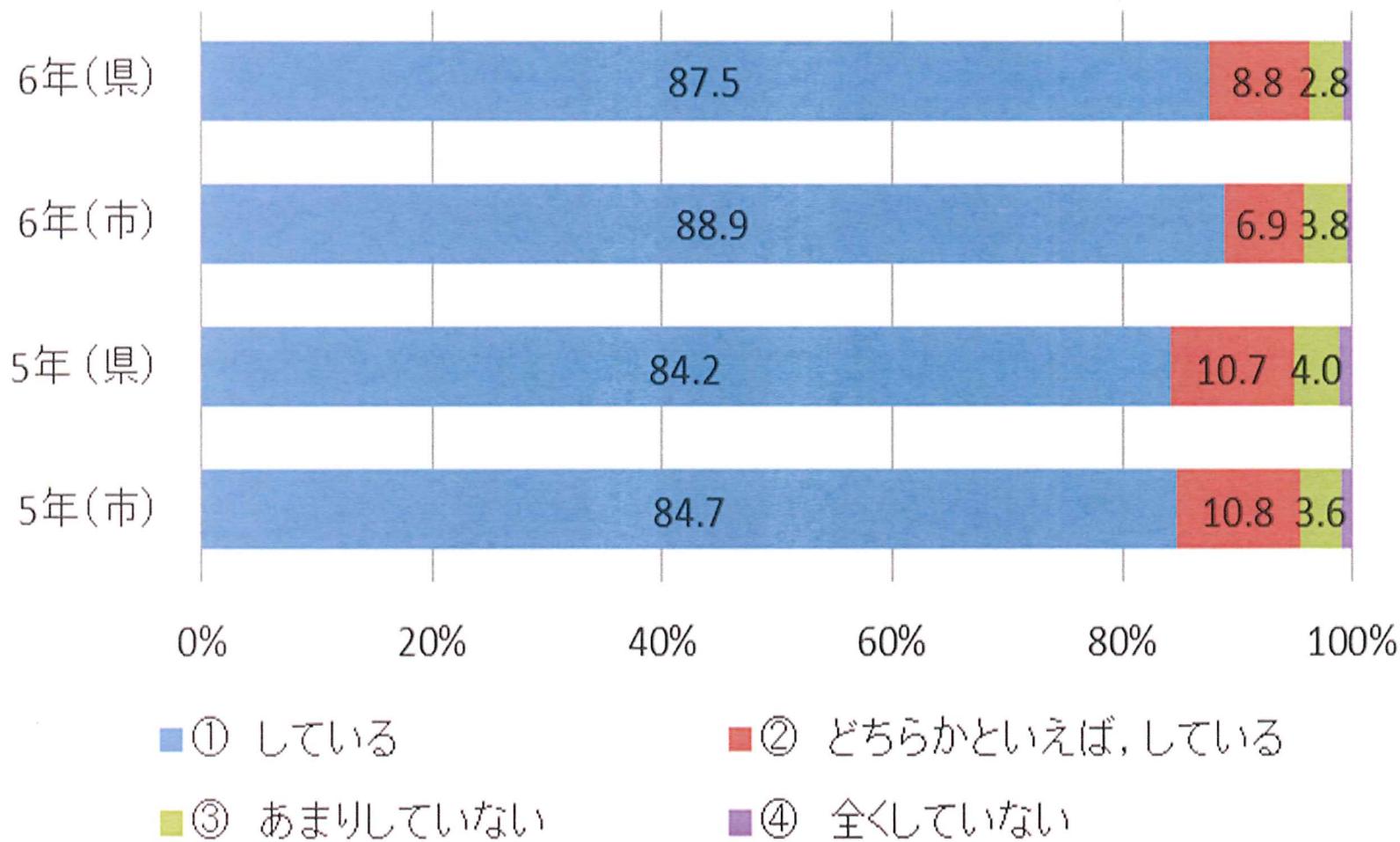
朝食を毎日食べている



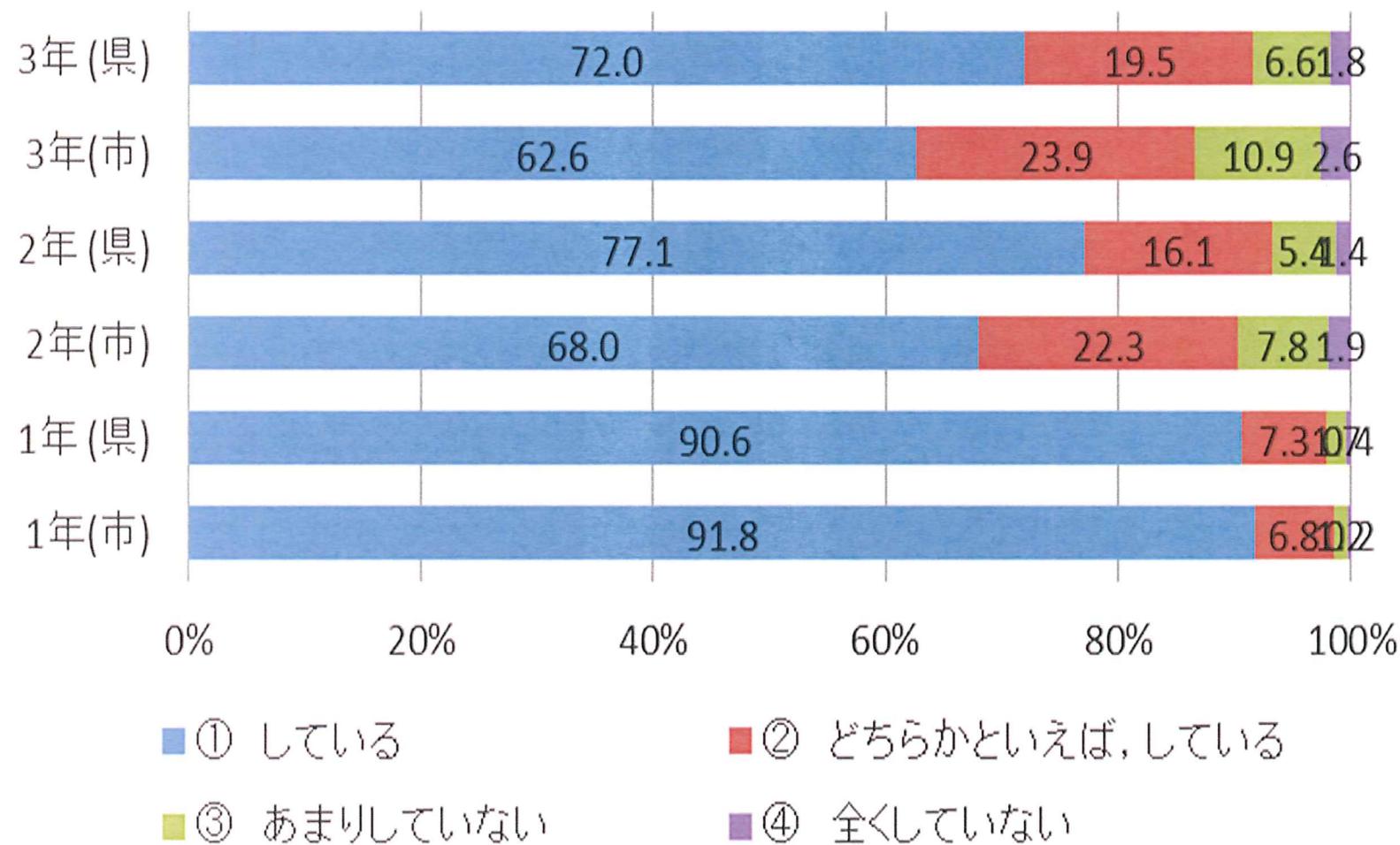
朝食を毎日食べている



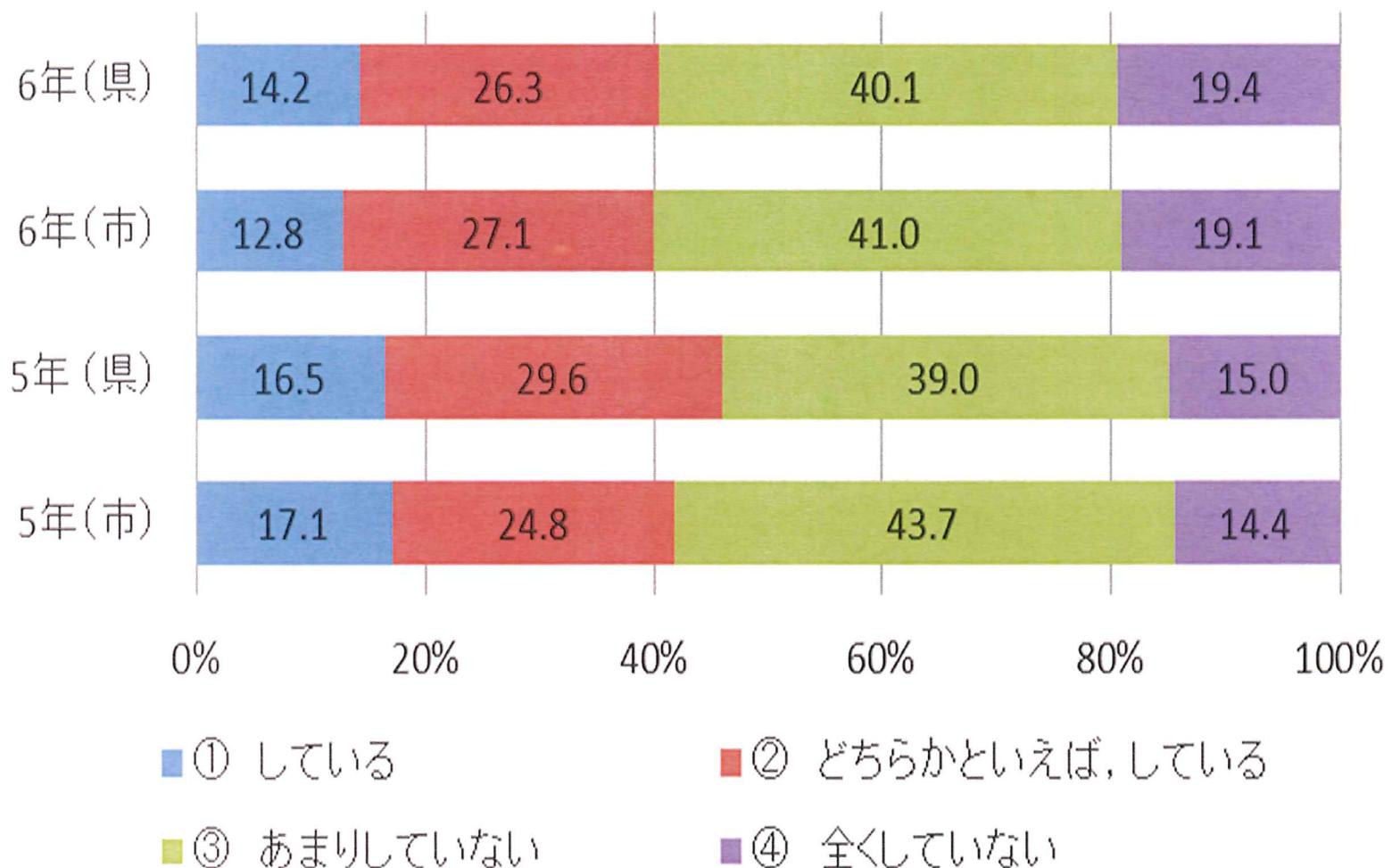
学校の宿題をしていますか



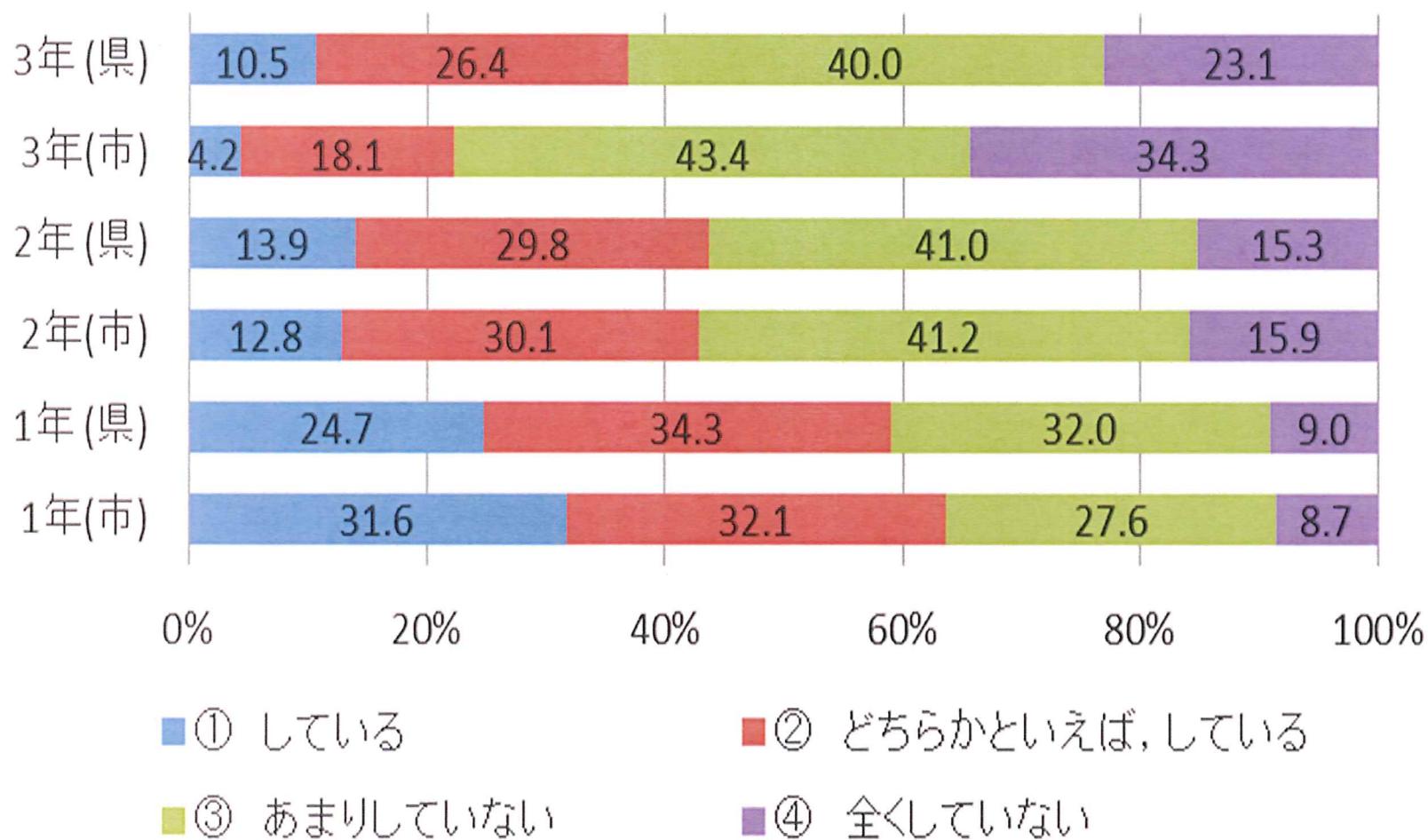
学校の宿題をしている。



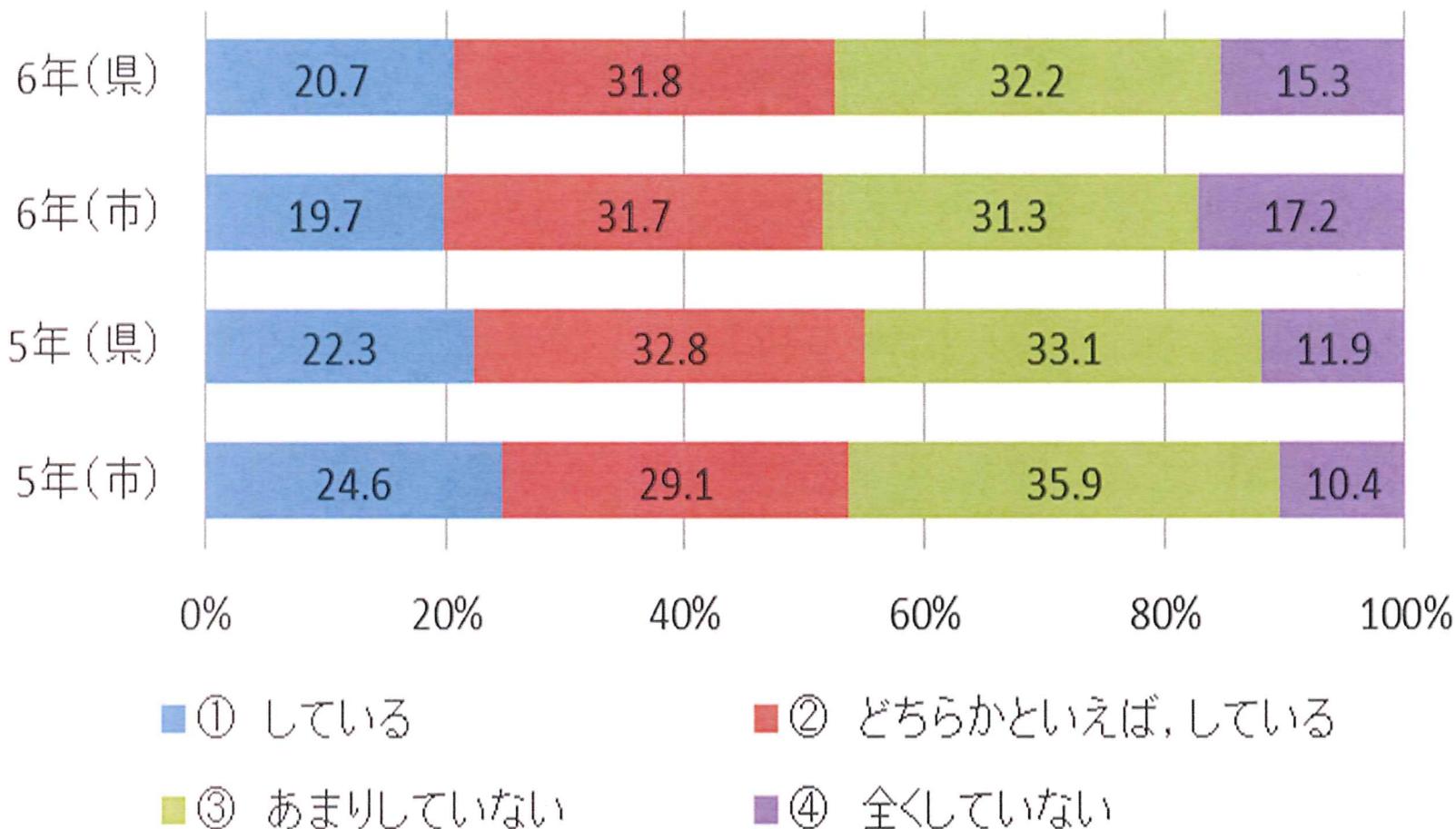
学校の授業の予習をしている。



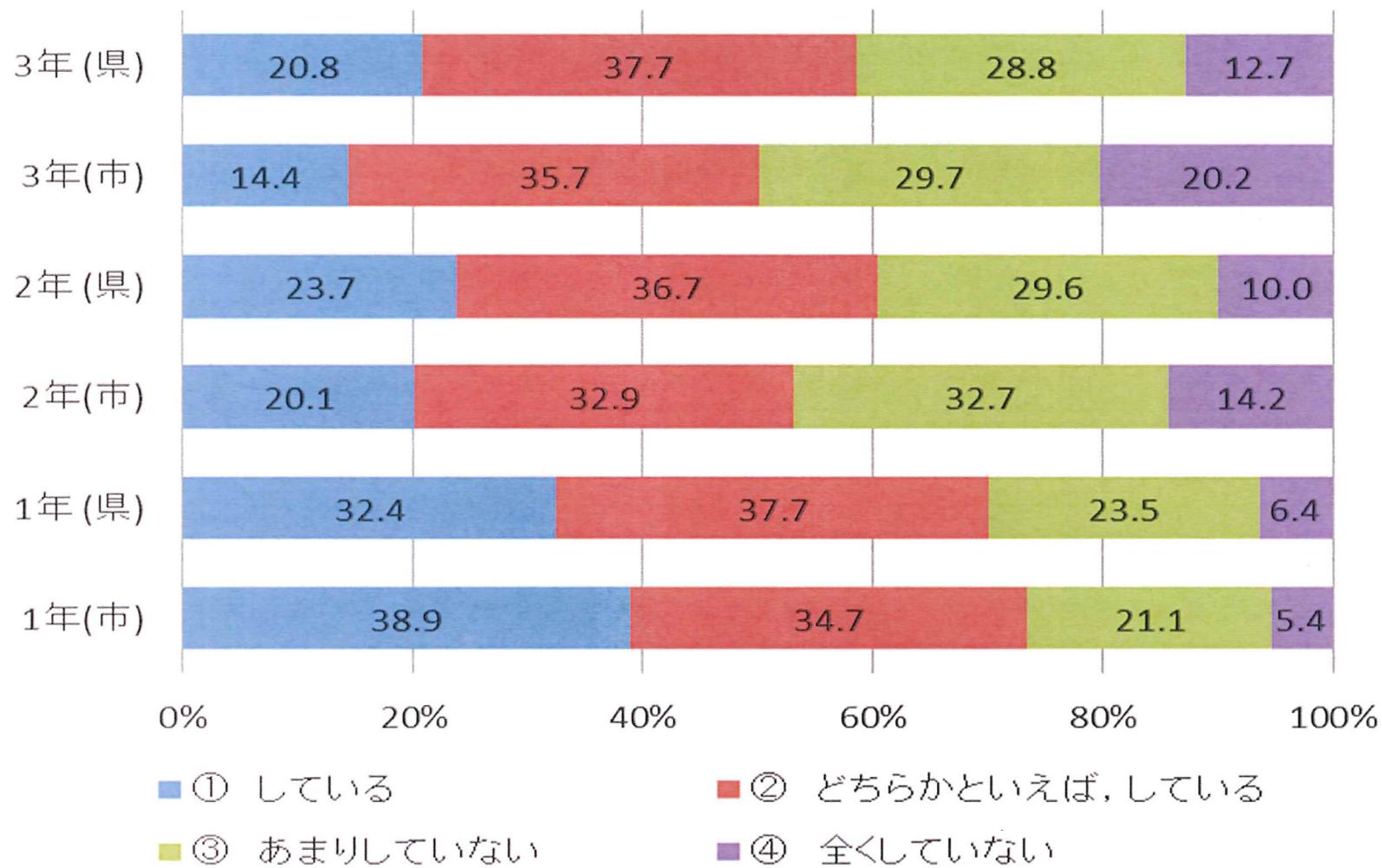
学校の授業の予習をしている



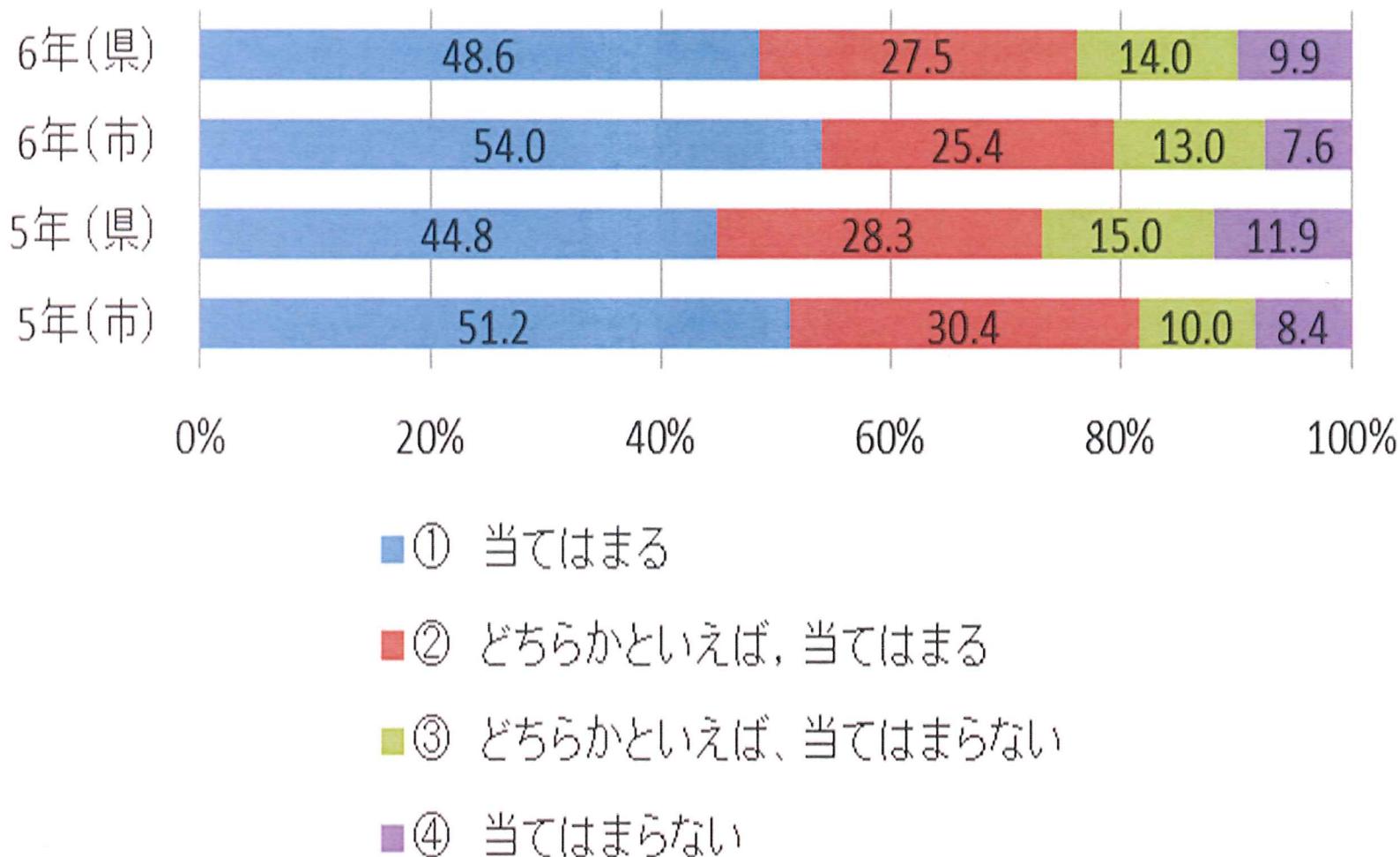
学校の授業の復習をしているか。



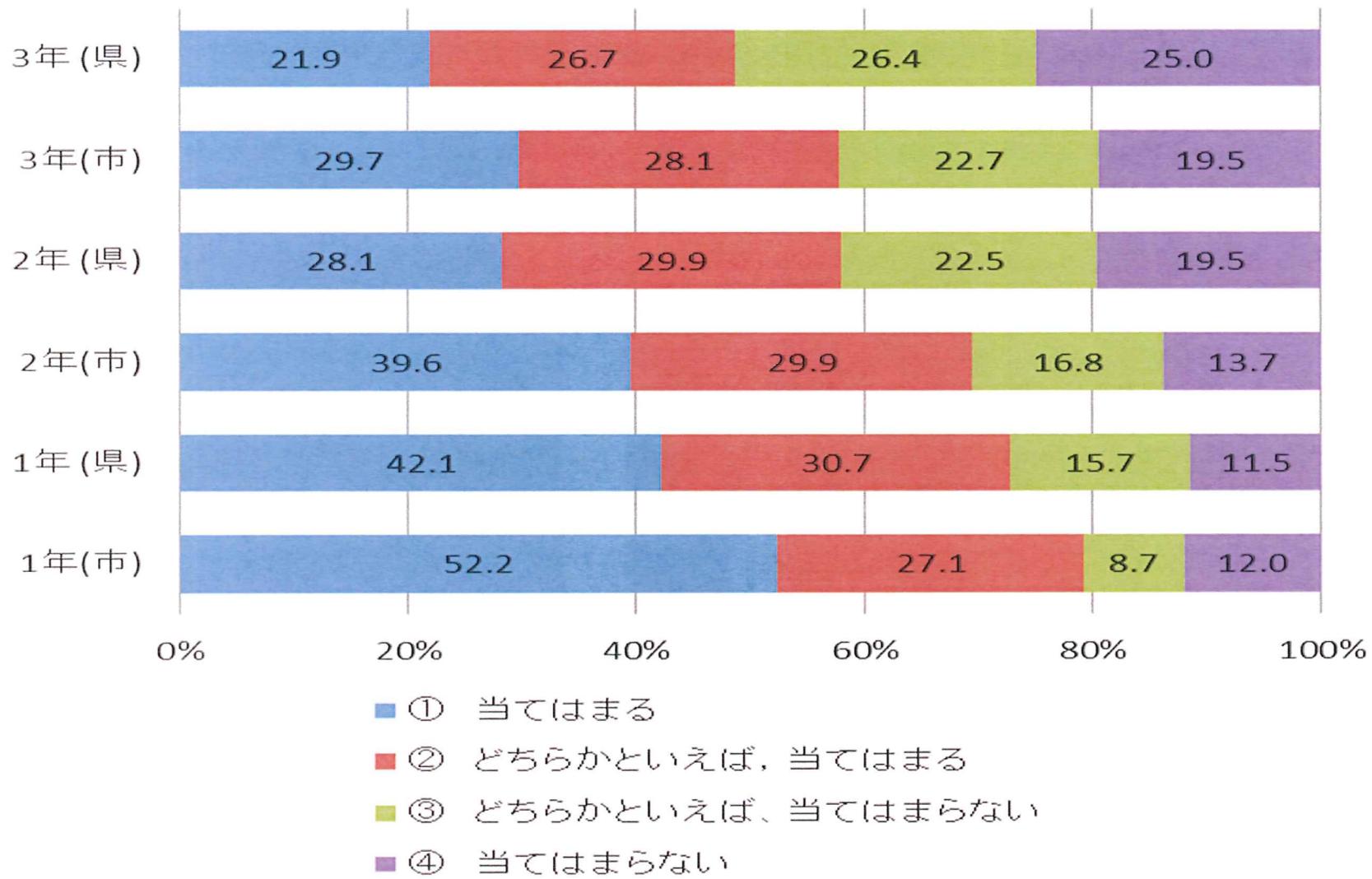
学校の授業の復習をしている



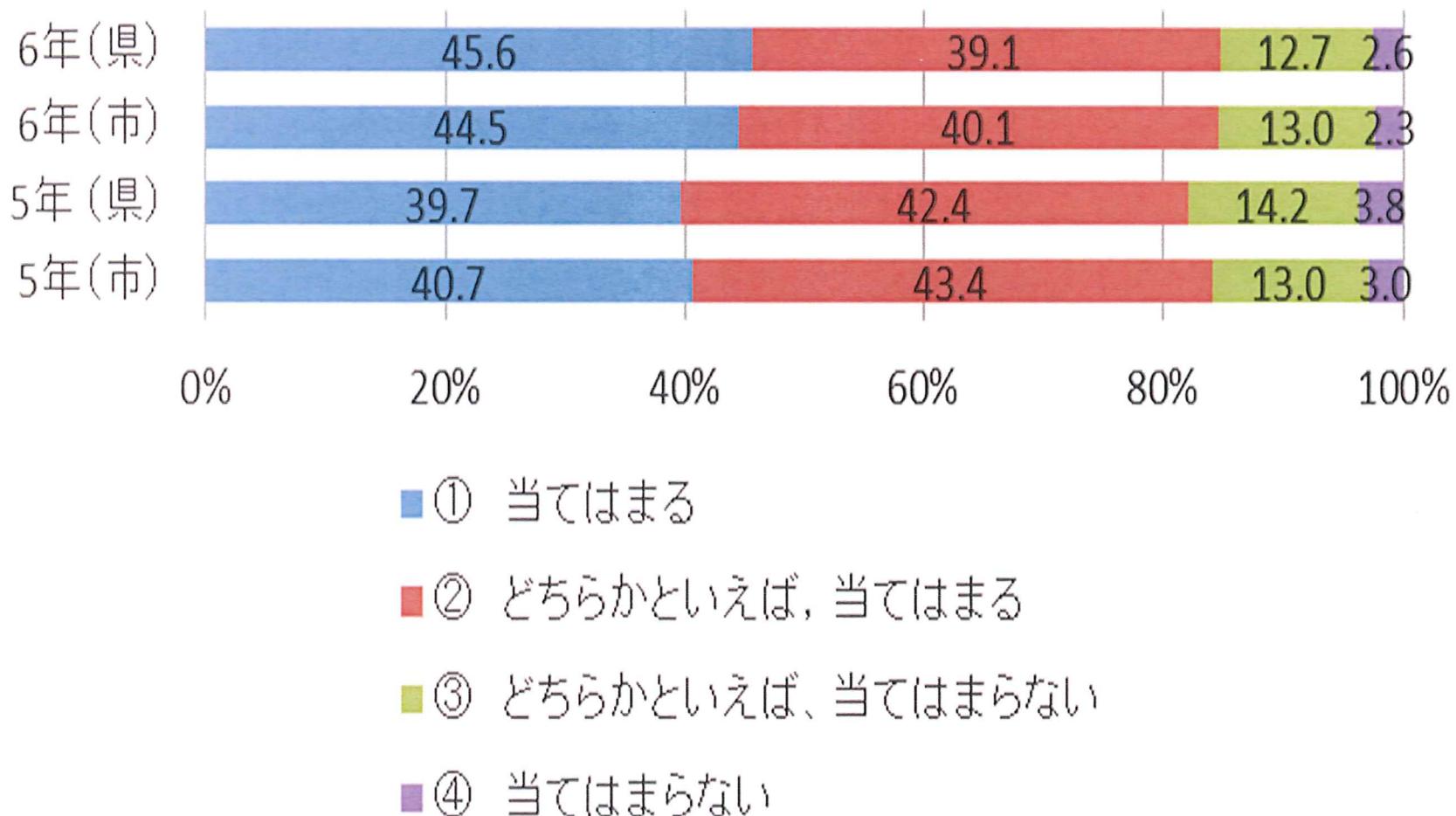
今住んでいる地域の行事に参加している



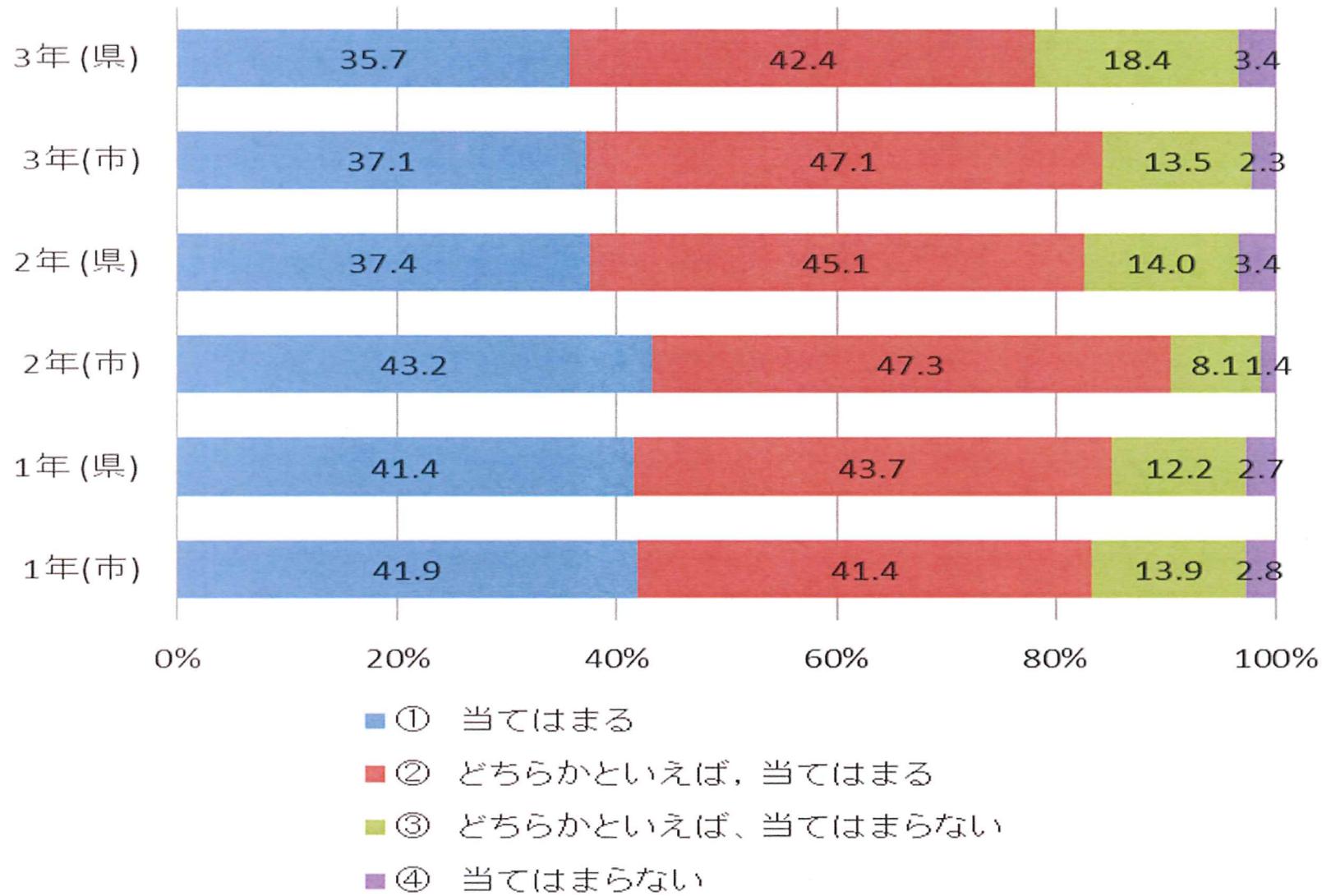
今住んでいる地域の行事に参加している



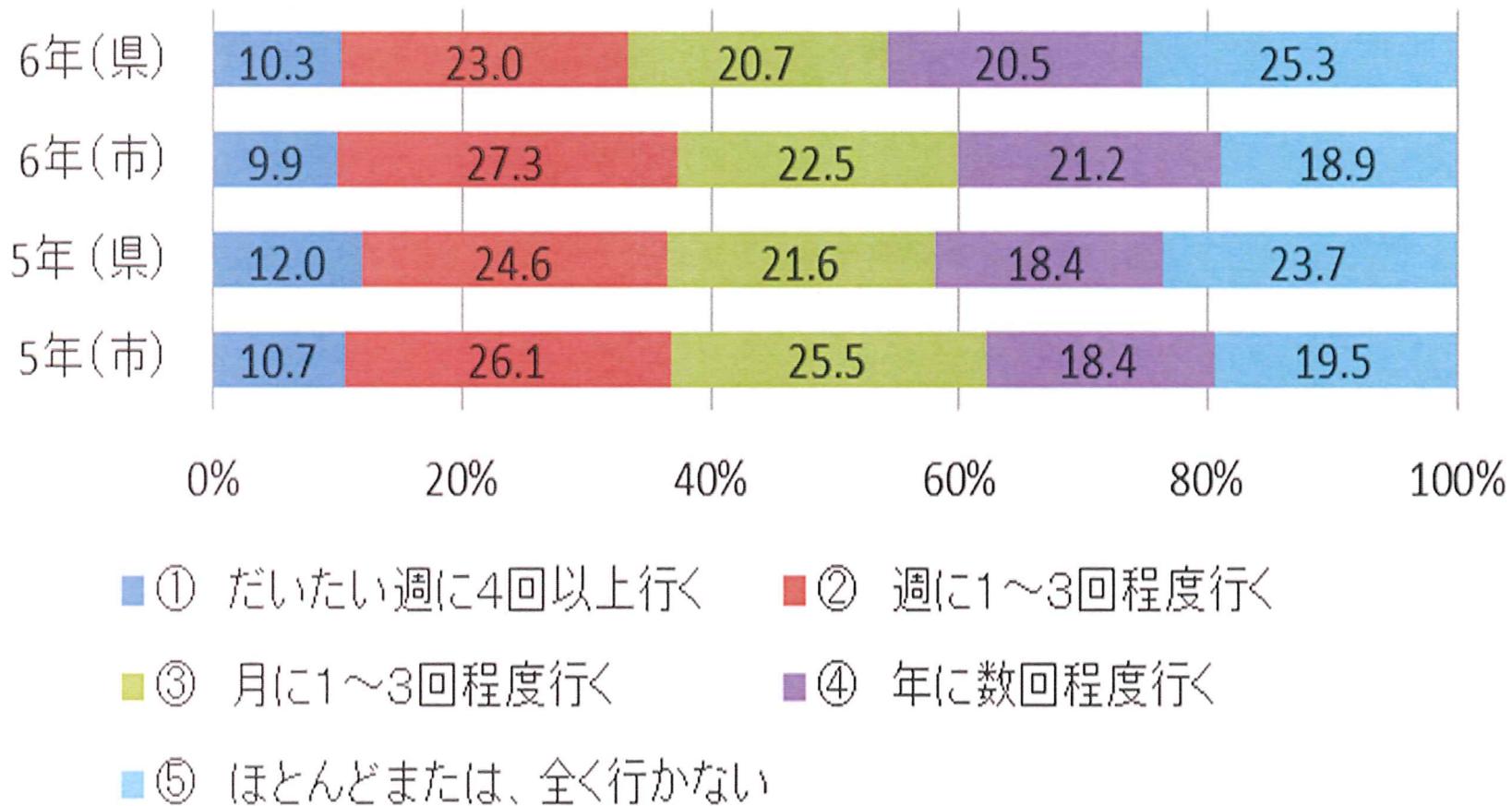
ふだんの授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていると思う



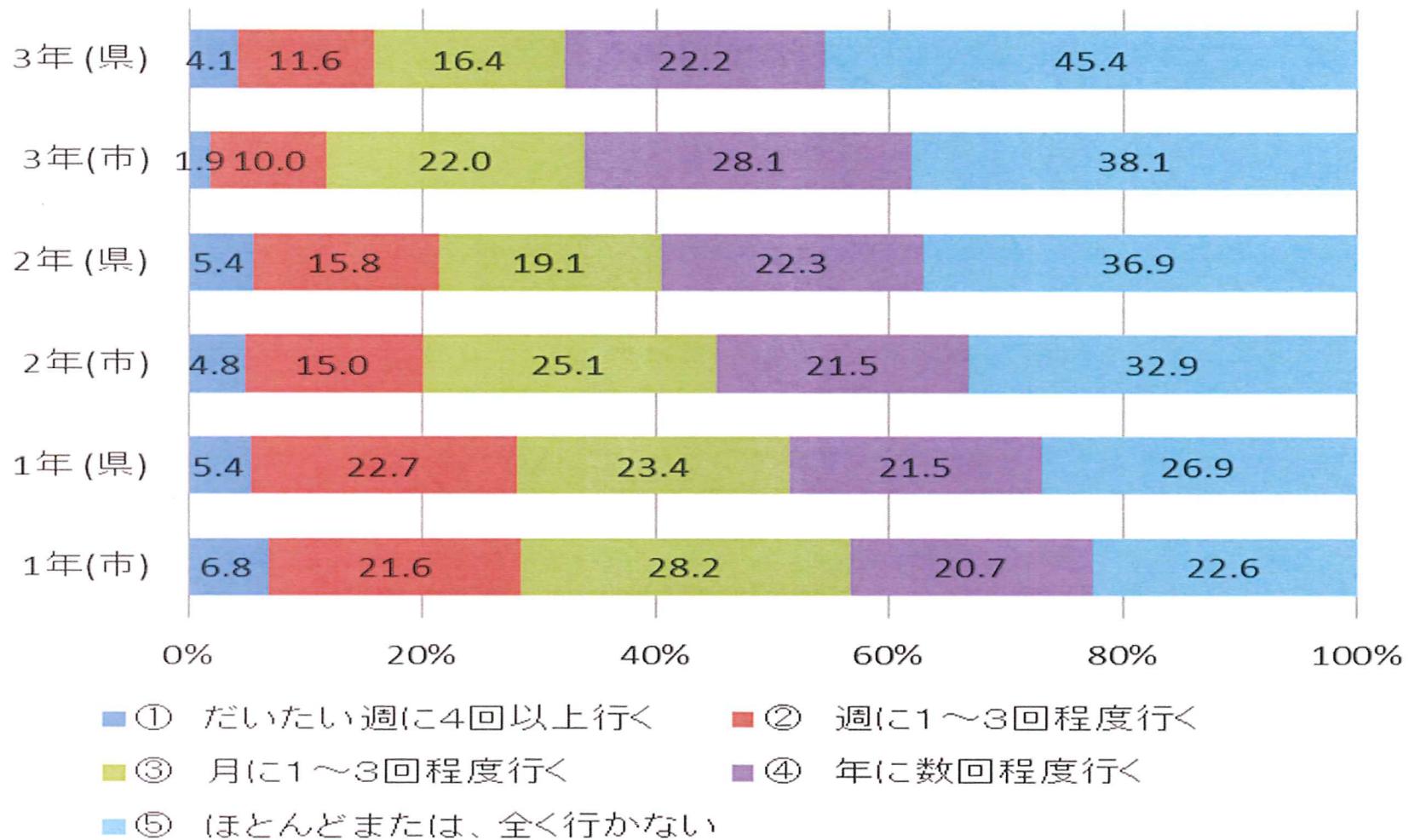
授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っている



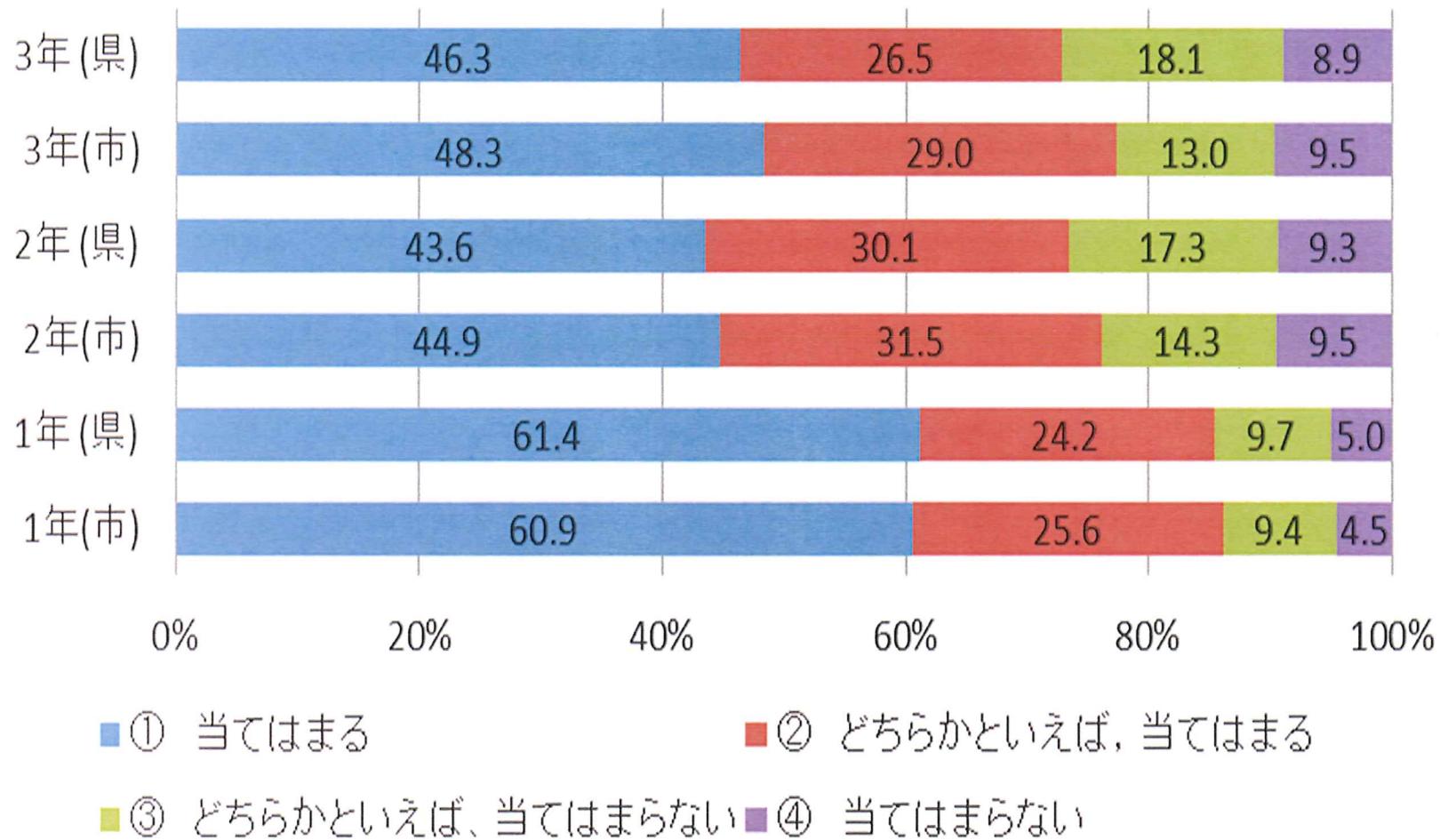
昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするため、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか



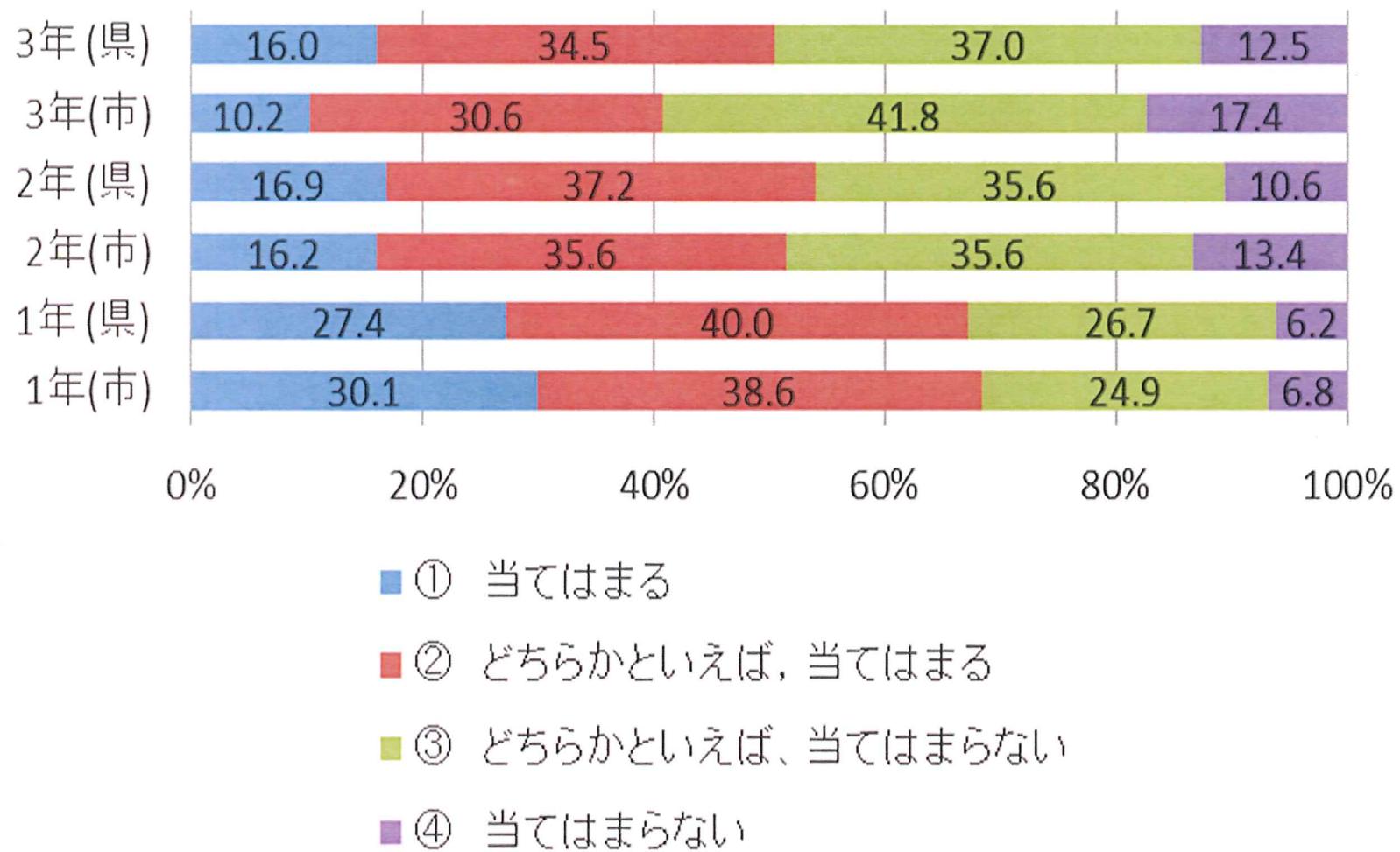
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか



将来の夢や目標を持っている



自分で計画を立てて勉強をしている



学校の授業以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか

